

☆大阪狭山市 議会 我だより

—編集・発行 議会広報委員会—

●代表質問……………②

共創みらい(松井 康祐)
日本共産党議員団(北村 栄司)
公明党(山本 あさみ)
大阪維新の会(中井 勝也)

●個人質問……………④

西野 滋胤(大阪維新の会)
中野 学(大阪維新の会)
小芝 英俊(ええまち狭山)
花田 全史(共創みらい)
山本 尚生(政風クラブ)
深江 容子(日本共産党議員団)
鳥山 健(共創みらい)
久山 佳世子(公明党)

●委員会審査のあらまし……………⑩

●議決結果一覧……………⑪

●議会報告会の報告……………⑫



議会だよりの表紙写真を募集中!

議会事務局 TEL366-0011(内線569)
メール gikai@city.osakasayama.osaka.jp

◆ 一般質問（質疑内容は各議員が作成し、抽選により決定された質問順序のとおり掲載しました。）

代表質問
共創みらい
松井 康祐



住み続けたい大阪狭山市を
実現するために

問 少子高齢化社会の到来や物価高騰により、市民は大きな不安に包まれている。基礎自治体は普段の暮らしの不安を解消し、豊かさで安心できる暮らしを実現する必要があると考える。①市町村合併や財政運営について。②物価高騰への対応について。③近大病院移転跡地活用について。④近大病院移転後も安心して利用できる公共交通機関について。

答 ①地域の発展や成長を遂げるための手段として、合併が唯一の選択肢だとは思っていない。議会における議論や、市民への丁寧な説明や対話を通じた機運の高まりが重要であり、住民投票制度を実施するための条例を制定した上で判断すべきものと認識している。また、市内各所の新たな開発等の動きを見据えた中での税金を含む経済効果との好循環を創出しながら、行財政改革における新たな大綱の作成を含め、効率的、効果的な行財政運営に努める。②実施中のさやりんポイントプレミアムチャージキャンペーン利用者は、前回に比べ大幅に増加している。今後も地域経済の活性化や事業継続の下支えとなる施策を検討する。③大阪府や近畿大学と連携し、関係者間の協議などを行う場を設け必要な協力を行っている。また、直接、近畿大学理事に申入れも行った。移転跡地が本市及び狭山ニュータウン地区の再生、活性化に繋がるよう跡地取得企業等と協議を進める。④近隣のバス事業廃止は、本市でも喫緊の課題として捉えており、本市域内でバス事業を行う事業者へ事業の廃止や減便がないよう要望を行った。

信頼される市役所について

問 ①職員の名札の装着や座席表示の方法の改善。②電話対応時の担当者名の告知を徹底してはどうか。

答 ①検討する。②周知徹底する。今後も、研修会等の機会を通じ、接遇力や市民対応能力の向上に努める。



指定管理者の指定について

問 今定例月議会に、4件（12施設）の指定管理者の指定に係る議案が提出された。①新たな指定管理者への円滑な引継ぎについて。②文化振興事業団の今後について。

答 ①指定期間の始期から円滑かつ支障なく指定管理業務が実施できるよう万全の調整を行う。②文化振興事業団は、平成5年の設立以来、市文化会館の管理運営や文化芸術のまちづくりの振興にご尽力いただいている。引き続き、文化芸術活動の支援などに取り組んでいただきたい。今後、時代の変化や多様化する市民ニーズにも対応した幅広い文化活動の推進など新たな可能性も視野に入れた事業展開を考えており、文化振興事業団と連携・協議しながら今後のあり方について検討する。

要望 ①市民、利用者、そして各施設の関連団体に迷惑がかからないよう円滑な引継ぎ願います。②文化振興事業団として職員の意見も聴きながら新たな取組に挑戦してほしい。市として決して安易な方向性で進むのではなく、10年後、その先を見据え協議を進めていただきたい。

代表質問
日本共産党議員団
北村 栄司



大阪・関西万博中止を国と大阪府に
要請を、税金は万博より暮らしに

問 増える会場建設費に対し、昨年実施されたアンケートでは7割強が納得できないと回答している。あまりにも民意からかけ離れている。

答 懸念事項や課題はあるが、引き続き万博協会や国、大阪府等の動向を注視し、大阪府内自治体とも連携しながら地元自治体として、大阪・関西万博を盛り上げていきたい。

問 夢洲は産業廃棄物や浚渫土砂^{しゅんせつ}で埋め立てられ、地盤沈下やPCB、ダイオキシンなどの問題など、施設の建設には最も不適切な場所であり、そのために会場整備費用が約2倍に膨らみ、合計3,187億円となった。さらに増える可能性もある。半年だけの万博に多額の税金使用は反対。暮らし応援にこそ使うべきとの意見が多数である。

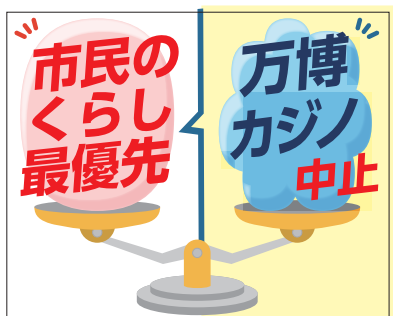
答 大阪府議会で可決された意見書で、国に対し今回の増額を最後とすることを要請されており、これ以上増額されることがないように、実施主体の万博協会や国、大阪府の動向を注視していく。

問 パビリオンの建設が遅れている。令和5年11月現在、独自に建てる60箇国のうち、建設会社が決まった国は24箇国しかない。建設の遅れを取り戻すのは厳しく、無理を重ねて強行すれば、世界における日本の信用や信頼が落ちかねない厳しい状況にあると考える。市長として、大阪府知事に中止の意見具申をするよう求める。

答 この万博が成功を収め、万博がめざす理念や価値観が後世へとしっかり語り継がれ、世界中で今回の万博のテーマである「いのち輝く

未来社会のデザイン」が体现された社会が訪れることを期待する。

意見 夢洲が「いのち輝く未来社会のデザイン」から体现された場所なのか。軟弱地盤やアクセスの問題からも来場者の安全が守られるのか疑問である。中止が最良の選択である。



水道料金の福祉減免制度の廃止に関して

問 令和5年5月に、福祉減免の廃止について議会に報告されたが、令和3年3月の大阪広域水道企業団との協定を締結する段階でこれを確認していたと令和5年9月定例月議会で述べられた。その時点で議会に報告すべきではなかったか。

答 大阪広域水道企業団との協定で、減免は最長で令和7年3月末までとされた。市民生活に関わる重大な事案は、できるだけ早く市民の代表である議会に説明すべきであったと深く反省している。今後は、速やかに議会に情報提供を行うよう努める。

信号機の設置要請を要望する

問 山本南アクアタウン東側からの入り口の四差路で、出会い頭の事故が増えていると聞く。信号機の設置の要望がある。

答 黒山警察署からは、交通量や歩行者が少ないため、信号機や横断歩道の設置は困難との回答であるが、優先道路を明確にするため、山本南アクアタウン側の一時停止による交通規制の新設を黒山警察署に要望し、さらなる交通安全対策を進める。

代表質問 公明党 山本あさみ



生涯住み続けたいまち 大阪狭山市について

問 ①持続可能な公共施設について、とりわけ公民館、図書館の再配置計画の進捗状況について。②高齢者の移動支援として、オンデマンドタクシー等の導入及びさやりんバスの運行本数と乗り継ぎ地点の増加、市循環バスアプリの導入について。③大阪狭山市は「こどもまんなか社会」をめざしますと市ホームページに掲載されているが、具体的な取組について。

答 ①公共施設再配置計画の策定に向け、令和5年9月に公共施設再配置計画策定委員会を開催するなど、庁内関係部局で連携し令和6年秋頃の策定を目的に順次進めている。②現在の市循環バスの運行状況では、オンデマンドタクシー等の必要性は低いと考える。本市社会福祉協議会の買い物ツアーなどの生活支援サービスの取組を進めている。また、令和5年2月に市循環バスルートの見直しを行っており、泉ヶ丘方面への新規ルートなども協議している。市循環バスアプリについてもデジタル化が進んだ段階で導入を検討する。③令和6年4月に予定している（仮称）こども家庭センターの設置に向け、関係部局との調整を進めている。こどもまんなか社会の取組を推進するためのこども大綱など、国の動向も注視しながら、今後も庁内で連携し、本市の第3期子ども・子育て支援事業計画の策定内容も含め個別施策を推進していく。

要望 ①全国的に公民連携の新たな動きがある。全国の事例を参考に、市民の誰もがくつろげるユニバーサルデザインの複合施設となるよう、

また、図書館の閉館時でも受け取りが可能となる本の予約、貸出ロッカーの設置も要望する。②本市と包括連携協定を結んでいる南海電気鉄道株式会社や大阪第一交通株式会社とうまく連携し、バス停に行くのが困難な市民の移動が可能となるよう、まずは社会福祉協議会の生活支援サービスをさらに進めていただきたい。市循環バスアプリもデジタル化が進む中での導入を要望する。③子どもたちにも自分たちが「こどもまんなか社会」の中心にいると理解できるように学ぶ機会をつくり、子どもたちが安心できる居場所づくりを要望する。



©KOMEITO

学校部活動の地域連携、 地域移行について

問 学校部活動の地域連携、地域移行の現状について、本市の見解を伺う。

答 段階的な移行に向けた課題整理を進めている。本市の地域性や子どもたちの状況を踏まえた大阪狭山モデルの地域移行を進める。

軽自動車救急車の導入について

問 道幅が狭いため救急車が入れない地域の市民の安心、安全のため、軽自動車救急車の導入を求める。

答 現時点では現状の救急体制での運用で可能と考える。

要望 道幅が狭くても地域の市民が安心できる救急体制、今後も救命・救急力の強化が図られるよう、堺市消防局に働きかけを要望する。

※誌面の都合上、「公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団」は「文化振興事業団」、「公益財団法人2025年日本国万国博覧会協会」は「万博協会」、「新型コロナウイルス感染症」は「新型コロナ」、「近畿大学病院」は「近大病院」と適宜、表記しています。

代表質問
大阪維新の会
中井 勝也



基礎自治体の機能強化について

問 ①今後の人口動態や本市の課題について。②大阪府の基礎自治体の機能強化に関する調査特別委員会や南河内地域2町1村未来協議会の取組について。③中長期財政シミュレーションについて伺う。

答 ①少子高齢化等、人口構造の変化を前提とした長期的な対策が必要と認識している。②将来を見据えたあらゆる選択肢を持って、強固で効率的な広域連携を推進していく。③大阪府の助言・指導も受けながら、新たな中長期財政シミュレーションの作成・公表に努める。

要望 先を見て対策を講じるのが政治、行政の仕事。確実に訪れる厳しい未来を乗り切るために具体性を持った検討を進めるよう要望する。

①職員基本条例、②教育行政基本条例について

答 ①職員の使命感を向上させる条例制定をめざし、令和7年度を目途に取組を進める。②市と教育委員会、学校、家庭、地域が連携・協働し、総がかりで本市の教育を推進していく。本市総合教育会議において、条例制定をめざし協議していく。

職員給与制度の見直しについて

答 国の動向、社会情勢や財政状況等も勘案し、地域手当をはじめとする各種手当なども含めた給与制度全体として総合的な見直しを検討し、職員が意欲とやりがいを持って職務に取り組んでいくことができる人事・給与制度を構築していきたい。

子育て世帯に選ばれるまちになるための施策について

問 ①現在の子育て関連施策の課題について。②子育て世帯に選ばれ、生涯住み続けてもらうための施策について。

答 ①(仮称)こども家庭センターの人材確保と庁内連携体制の強化、東放課後児童会の待機児童解消のための取組、保育人材の確保等が主な課題である。②人材確保や各部局との連携が非常に重要である。市民のお力もお借りして、さらなる子育て支援施策の充実に向けた取組を計画的に進めていく。

要望 予算をしっかりと確保し、改善してほしいという市民の声に着実に対応していくことを要望する。



①大阪狭山市公共施設再配置計画に関しての見通し等、②子どもたちの学びの質を担保する学校の適正規模について

答 ①今後10年程度を対象とした短期での機能の見直しや再配置を想定した施設を中心に、公共施設の更新や複合化等の具体的な対策内容や実施時期等を令和6年秋頃に示す。②教育のまち大阪狭山の名に恥じないよう、子どもたちにとってよりよい教育環境にすることを中心に据え、保護者や地域の方々との共通理解を図りながら検討していく。

府道河内長野美原線の整備について

答 歩道拡幅の実現に向け、地権者との折衝や地元地区との協議などにも積極的に参画し、引き続き大阪府に要望をし、協力していく。

個人質問
西野 滋胤



デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定について

問 大阪狭山市DX推進計画の内容とその進捗状況、本市の情報政策の今後の展望について伺う。

答 現在、情報システムの標準化・共通化に向けた準備作業として、現行システム仕様との差異の確認を行うほか、これまで行政手続のオンライン化の推進等を進めてきた。大阪府の事業を活用し、今年度内に大阪狭山市DX推進方針を策定する予定である。令和7年度の情報システムの標準化・共通化に向け、円滑なシステム移行に尽力する。

要望 国のDX推進計画において行政手続のオンライン化が自治体フロントヤード改革に包摂された。国や先行自治体の成功事例を参考に、各

個人質問
中野 学



福祉施策の再構築について

問 ①带状疱疹ワクチン接種の助成、②高齢者等ごみ出し支援事業と買い物弱者サポートの移動販売について。

答 ①市長会を通じて速やかに検討を進めるよう国や大阪府に要望しており、国の議論を注視する。②新たな福祉ニーズや生活の質の向上を図る福祉サービスに向けた福祉施策の再構築を進める中で、地域の必要性に応じた取組を支援していく。

要望 ①福祉施策としてのワクチン接種に対する助成の検討を求める。②市独自の車両運用とフードドライブに循環するシステム構築を求める。

ナガライ
パリ五輪競技種目ブレイキン半井選手のパブリックビューイングについて

種手続を集約化したワンストップ窓口の導入を要望する。

本市DX推進方針策定に向け、大阪府の事業による外部人材を有効活用し、年度内策定の完遂を要望する。

市民サービス向上と職員の負担軽減を図るために全庁的に意見の集約と、その意見を反映したシステムの導入を進めるよう要望する。

今後の本市の子ども政策について

問 ①こども政策部と健康福祉部に導入されるこども家庭センターの機能について。②現在の放課後こども支援グループが新たに設置するこども育成グループとなるが、どのように取り組んでいくのか。

答 ①(仮称)こども家庭センターは、母子保健と児童福祉双方の機能を一体的に運営するため、全体のマネジメントを行う責任者としてのセンター長と十分な知識を有する統括

問 画面を通して市民みんなで応援ができる場を希望する。

答 リアルタイムでの観戦は様々な課題がある。市民と一緒に応援する機運醸成の取組を検討していく。



犯罪被害者等支援条例制定について

問 被害者に対して支援金支給や相談窓口の設置、裁判手続費用の無利子貸付制度などが必要ではないか。

答 市長会を通じて要望し、国や大阪府の動向を注視し調査研究する。

要望 市町村により支援内容の違いがある。条例の制定を要望する。

支援員を配置し、妊産婦、子育て世帯、子どもへの相談支援を行う。効率よく情報共有を行える環境を整備し、連携強化を図る。②放課後こども支援グループと保育・教育グループを統合し、窓口の一本化による利便性の向上と事務の効率化を図る。

要望 保育園、認定こども園等のオンライン申請の導入を要望する。

放課後こどもグループの名称がなくなるため、放課後児童会父母の会や大阪狭山市学童保育連絡協議会、来年度新1年生となる家庭には丁寧な説明と周知の徹底を強く要望する。



市内の廃棄処分される食糧を必要とする方に循環するシステムの構築について

問 フードドライブにより、生活困窮者や子ども食堂への提供、その周知やマッチングが大切で、保管場所や仕分けの仕組みづくりが必要と考える。

答 安定的な需要と供給が行えず、新たな食品ロスが生じる可能性もあり、慎重に検討する必要がある。

狭山ニュータウンの緑道整備

問 緑道は憩いの場であり、災害時には避難路の確保にもつながることから整備を求める。

答 根上がりの解消など、グリーンインフラの推進による空間整備への取組として、周辺との一体的な整備手法等について検討していく。

要望 地元住民の意見も取り入れつつ、整備の推進を要望する。

議会を傍聴 しませんか

3月定例会議会

- 2月 21日(水) 議会運営委員会
- 28日(水) 初日 YouTube
- 3月 8日(金) 代表質問 YouTube
- 11日(月) 個人質問 YouTube
- 14日(木) 建設厚生常任委員会
総務文教常任委員会
- 19日(火) 予算決算常任委員会
- 21日(木) 予算決算常任委員会
- 22日(金) 予算決算常任委員会
- 26日(火) 最終日 YouTube

YouTube マークのある会議は、YouTube で生中継しています



- パソコン
- タブレット
- スマートフォンでご覧ください

▶▶▶ 大阪狭山市議会公式
YouTube チャンネルは
コチラ



▶▶▶ 大阪狭山市議会
ホームページはコチラ

大阪狭山市議会ホームページでは、会議録や定例会情報、議員名簿、その他議会からのお知らせなどを掲載しています。



個人質問

小芝 英俊



大阪・関西万博について

問 開催地の夢洲は、土壌汚染、防災対策面で危険の多い埋め立て地である。校外学習などの学校行事で子どもたちを引率することは避けるべきではないか。見解を伺う。

答 情報収集が必要と考える。教育課程の編成権を持つ校長への情報提供と指導助言を継続する。

市立幼稚園3園の統合と

市立こども園の施設改善について

問 ①市立幼稚園3園の統合の現状について。②市立こども園の施設設備の改善について。

答 ①望ましい教育・保育環境を見据え、現在、検討している。②施設の不具合は、適宜、修繕・補修を行い、安全管理に努める。

樹木を大切に作る大阪狭山市を

答 伐採は、枯れ木や支障木など倒木の恐れのある危険木だけに留め、緑の空間の整備を進める。

市民ふれあいの里の
整備の充実について

答 民間事業者の意見を聴く機会を設け、検討していく。

要望 専門家の意見を聴き、観光スポットとして再生を強く求める。



「交差点では減速のまち」
大阪狭山市に

いることを要望する。

学校トイレの快適化について

問 市内小中学校の洋式の便器の割合、洋式への計画的な交換、温水洗浄便座の設置について、見解を伺う。

答 割合は74.7%であり、施設の老朽化対策や大規模改修の際に改修を進めている。温水洗浄便座は、ほぼ設置されていない。

学校体育館の洋便器率は38.1%であり、和便器が大半を占めている。

要望 避難所として使用される学校体育館の洋便器率の低さには驚きである。

家庭の温水洗浄便座の普及率は80.3%であることから、児童生徒が1日の大半を過ごす学校トイレの洋式化、温水洗浄便座の設置、体育館トイレの洋式化を優先的に進めるよう要望する。

答 路面標示や啓発看板の設置、交差点のカラー化などドライバーの視認性に直接訴える対策を進める。

新型コロナウイルス感染症の後遺症
やコロナワクチン接種の副反応につ
いて

答 後遺症については、大阪府が相談窓口を設置しており、市でも周知に努めている。ワクチン接種による重症化予防等の効果が副反応のリスクを上回るとされる。国からの正しい情報を発信する。

意見 追加接種を続けているのは日本だけである。ワクチンの有効性を知らせるのも大切であるが、リスクも市民にきちんと説明すべきである。

オーガニック給食実施に向けた検討
について

答 導入可能なオーガニック食材を調査研究していく。

ペット終活について

問 飼い主は、「いざというとき」のために、ペットの預け先や新たな飼い主を探す等、事前の準備が必要である。香川県高松市では、早めのペット終活を行うため、ペットを取り残さないための日頃の準備の説明や、終活メモとしてペットの名前や年齢、かかりつけの動物病院等を記載できるチラシを配布している。見解を伺う。

答 ペットとの暮らしのための4つの備えなども参考に、ペット終活に関する情報を、市広報誌やホームページなどで周知し、啓発していく。



個人質問

花田 全史



家族性高コレステロール血症（FH）
の早期発見を

問 遺伝子の異変が原因で、新生児から悪玉コレステロールの値が高くなる遺伝性の疾患であり、若年から動脈硬化が進行し、心筋梗塞や狭心症を引き起こすとされている。本市の取組と、学校健診を活用した早期発見の取組について見解を伺う。

答 市ホームページでFHの情報を掲載し、知識の普及や啓発、また、保健だより等を活用し、生活習慣病など健康の影響について、啓発を行っていく。

要望 15歳以上では、アキレス腱ひころ肥厚そうはつせいと早発性冠動脈疾患いんどうみやくしゅつかんの家族歴があれば、FHと診断されることから、保護者に対して注意喚起を行うことや、学校健診時に簡易血液検査を用

個人質問 山本 尚生



デジタル化による 教育の推進について

問 デジタル化が進む中で、小中高校生の近視やデジタルドラッグが問題となっている。児童生徒の健康確保とGIGAスクール構想の推進など、市の教育方針を伺う。

答 タブレット端末の活用は、GIGAスクール構想以降、大きく進んでいる。本市の子どもたちに顕著な視力低下は見られないが、学校では、画面を見る姿勢や、目を休ませることを指導している。これまでの板書、ノートにまとめるといった教育活動にタブレット端末の活用を加えて、教育効果を高めていきたい。

大阪府チャレンジテストについて

問 中学3年生を対象に行うこの

テストの制度の趣旨を生徒や保護者にしっかりと伝える必要がある。本市の取組とその結果の活用を伺う。

答 本市は、大阪府の平均をおおむね上回っている。テスト結果は公立高等学校入学者選抜に活用されるため、公平性の担保の仕組みは大阪府が定めている。学校では、進路担当者と学級担任が子どもたちや保護者に説明している。引き続き、制度の周知に努め、テスト結果を子どもたちの学力向上につなげていく。

市民ふれあいの里について

問 市民ふれあいの里は、全体的には、綺麗に整備されているが、まだ、和式のトイレも残っている。リニューアルについて、市の考えを伺う。

答 開設後、随時、改修等を行ってきた。園内正面のトイレは、スポーツ施設等の現地調査の結果を踏まえて対応を検討する。今後、水とみど

りのネットワーク構想や、公民連携の手法も取り入れてリニューアルの可能性を検討していく。



道路の安全対策について

問 先日発生した市道東野菅生線の交通事故現場周辺の標示が薄くなっていった。早急な改善が望まれる。

答 事故発生後、黒山警察署と協議を行い、中央線や交差点マーク等の道路標示の補修や、速度規制標識等の設置を予定している。今後も、市民が安全に利用できるよう関係機関と連携し、維持管理に努める。

個人質問 深江 容子



生理用品の

学校トイレへの設置に向けて

問 当事者である子どもたちの意見を反映すべきと考える。取組の経過と見解を伺う。

答 令和5年12月から全中学校で試行し、アンケート調査などで子どもや教職員の意見を把握し検討する。



フリースクールみ・ら・い分室について

問 不登校は増加の傾向にあり、自分を認めてくれる居場所や多様な学び方ができる居場所などを持つことが大切である。市立コミュニティセンターでのフリースクールみ・ら・い分室の状況を伺う。

答 分室は週1回開室し、個別の学習に取り組んでいる。教育相談のニーズもある。次年度は開室日数を増やすことやタブレット端末を活用できる環境整備などを充実する。

要望 子どもに寄り添う教育が求められる。校内教育支援センターにおいても、信頼関係を築くための教員体制の強化を求める。

保育施設などの 利用申込状況の公表を

問 利用募集に際し、定員に対し希望者が何人いるのかなどの利用申込状況の公表を求める。

答 公表しても、入所できる人数

との差異が生じる場合があるため、混乱を招く可能性がある。申込時に個別に対応する。

市関連行事と自衛隊について

問 本市関連行事の企画に自衛隊車両展示とあり、行事の趣旨にそっているのかと疑問を持つ声がある。自衛隊の参加は慎重を要する。

答 行事の趣旨・目的に合致した企画の実施に努める。

介護保険の負担増は中止、 国庫負担の引上げを

問 物価高騰で暮らしは厳しい。これ以上負担が増えれば利用控えが進み、家族の介護負担が増える。事業所の経営も困難になる。保険料の引下げ、国庫負担の引上げを求める。

答 介護給付費準備基金の活用などを検討する。公費負担の引上げなどは市長会を通じて国に要望する。

個人質問 鳥山 健



万博と本市の取組について

答 大阪府在住・在学の4歳から18歳までの子どもは1回無料招待される。万博開催に伴う交通や交流人口の増加が見込まれ、本市の認知度の向上や経済の活性化、景観など空間整備と賑わいづくりを進める。また、道路は、国道310号の適切な維持管理と府道198号線の歩道整備を大阪府と市の連携で進める。

要望 障がい者（児）団体への参加補助について、研修会補助金の活用や情報提供など市の協力を求める。

学校給食のあり方について

問 本市は地方交付税交付団体である。例えば、全国平均より低い本市の学校給食費月額を5千円にして質・量ともに高め、市が半額負担し

て保護者負担を軽減し、国・大阪府の財源補助確定を受けて学校給食費の完全無償化を実現してはどうか。恒久財源と給食の制度設計を伺う。

答 人口増加は税収増となる。学校給食費の無償化は好循環の一つの手法と考える。議員の提案は学校給食の充実と保護者負担双方を勘案しているが、引き続き、国・大阪府の財源措置を要望し進めていく。

要望 無償化に反対ではないが、子ども医療費拡充後も人口は微増微減である。確たる本市の学校給食のあり方や財源の制度設計を求める。

本市の文化振興と文化振興事業団の今後について

答 今後は、教育行政と連携し新たな事業展開も視野にあるが、文化振興の基本的な考えは変わらない。文化振興事業団は、引き続き本市の文化芸術の振興や文化協会の事務局

を担う。文化団体等関係者への説明の場については、文化振興事業団と協議する。

意見 文化団体等が各方面で活躍しネットワークを広げ、本市の教育文化都市を支えてきた。コミュニティ・スクールにおける文化協会と学校長・地域学校協働活動推進員との連携推進を求める。また、約30年固定された関係が、新たな指定管理者・文化振興事業団・文化協会等・市となる。市として敬意をもって説明の場には同席し、円滑な引継ぎがされるよう求める。



個人質問 久山 佳世子



飼い主のいない猫から 地域猫への取組を

答 大阪狭山市所有者のいない猫用捕獲器及び活動支援物品貸出要領を令和5年9月に制定し、捕獲器と共に活動する際の腕章を貸し出す取組を始めた。今後、地域猫活動を実践しているボランティア団体等を支援し地域猫活動の取組について、普及啓発に取り組んでいる先進自治体の事例等も参考に調査研究していく。

学校図書館の充実と

子どもの読書活動の推進を

答 学校図書館図書整備等5か年計画で示されている図書標準は、平成26年に達成している。新聞の複数紙配備や学校司書についても既に全校で達成しており、図書の更新も

随時行っている。市立図書館と連携し、「いつでも・だれでも・どこでも読書」という意味を込めた読書eプランを実施している。読書感想画をはじめとするコンクールなど、子どもたちが本と出会う様々な機会を設けている。



©KOMEITO

奨学金返還支援制度の推進を

問 自治体や企業が、奨学金の返済を肩代わりする制度により、本市への若者世代の定着を促進できるのではないかと。

答 大阪府等が実施している制度

を市広報誌やホームページ、本市商工会を通じて周知を行うことで、学生への情報提供や市内企業等の奨学金返還支援制度の導入促進を図っていききたい。

シェアサイクルの取組を

答 シェアサイクルや新たなモビリティの普及状況も含めた上で、今後の推移を見守り、調査研究を続けていく。

全国大会遠征費補助制度の導入を

答 本市では、市立中学校の部活動で全国大会へ出場するとき、全国大会遠征費の費用の一部を助成し、生徒が広く実践の機会を得るための支援に努めている。また、文化、スポーツ活動等において、特に優秀な功績または成績を取めた場合は、文化教育功労者として教育委員会表彰を行っている。

■再審法改正を求める意見書

えん罪被害者を救済するための制度としては「再審」があるが、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどなく、裁判所の広範な裁量に委ねられており、公平性も損なわれている。えん罪被害者を一刻も早く救出するため、証拠開示の制度化、検察官による不服申立ての禁止、手続規定の整備について、再審請求手続における再審法を速やかに改正をするよう要望するもの。

■認知症との共生社会の実現を求める意見書

認知症の高齢者が2025年には約700万人になると想定されている現実に対して、認知症施策を総合的かつ計画的に推進するための、共生社会の実現を推進する認知症基本法が先の国会で成立した。認知症の人を含めた国民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力のある社会の実現という目的に向かって、必要な予算措置も含め、行政の体制を一層強化させ、一刻も早い認知症との共生社会を各地域で実現することを要望するもの。

■食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書

食品ロス削減推進法が2019年10月1日に施行され、食品ロス削減に関する普及・啓発が進められてきた。一方で、2023年度の食品ロス量は523万トンで、国連世界食糧計画では食糧支援を行っており、日本における食品ロス量がその1.1倍以上となっている。食品ロス削減推進法に基づき、誰もが取り組める脱炭素アクションとして、食品ロス削減への国民運動のさらなる推進のため、事業者と一体となったエシカル消費の普及促進などを求め要望するもの。

「請願」「陳情」は、市政等に関する意見や要望を市議会に対して述べる制度で、どなたでも提出することができます。

【請願を提出するには1名以上の紹介議員が必要です。】

「請願」「陳情」は、件名、内容や趣旨・理由、提出年月日、氏名・住所・電話番号、「請願」の場合のみ紹介議員の署名、以上の必要事項を記載した文書を議長あてに提出して下さい。なお、右のような陳情は審査の対象としませんので留意して下さい。

▼審査の対象とならないもの▼

- 特定の個人や団体を誹謗中傷したり、その名誉を毀損するもの
- 法令や公序良俗に反する行為を求めるもの
- 裁判等で係争中の事件に関わるもの
- 市職員等に関して、懲戒、分限等の処分を求めるもの
- 採択、不採択などの議決があった請願や陳情と同趣旨で、概ね1年を経過していないもので、特段の状況の変化がないもの
- 趣旨、願意などが不明確で、判断としないもの
- その他、議会が関与することが適当でないもの

19日	15日	1月10日 (令和6年)	22日	19日	15日	12日	11日	12月8日	30日	24日	15日	13日	11日	9日	11月1日 (令和5年)
議会改革特別委員会	1月緊急議会 全員協議会	議会運営委員会	広報委員会 議会運営委員会 全員協議会 全会議(最終日)	予算決算常任委員会 議会運営委員会 全員協議会 全会議(追加)	広報委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 全会議	建設厚生常任委員会 総務文教常任委員会 全会議(代表質問)	建設厚生常任委員会 全会議(個人質問)	幹事長会議 議会運営委員会 全会議	幹事長会議 全会議(初日)	議会改革特別委員会 (12月定例会月議会)	全会議(初日)	再生調査特別委員会 議会運営委員会 全会議	狭山ニュータウン 議会報告会	議会改革特別委員会 全会議	幹事長会議 全会議

議
会
日
誌

委員会審査の あらし

議案は常任委員会に付託され、審査されました。
主な内容は次のとおりです。

建設 厚生 常任委員会

不採択 介護保険料の引き下げを 求める要望

意見 不採択 物価高騰で苦しい生活が続き、介護保険料引下げを求める想いは理解するが、これまで市民生活の応援として、さやりんポイントプレミアムチャージキャンペーンや非課税世帯に対する支援給付金など、各事業を展開してきた。

介護保険料は、各市町村において、高齢化率や要介護認定率など様々な角度から決定している。

高齢化が進み、介護サービス利用者が増えており、必要な給付を行うと同時に、給付と負担のバランスを図りつつ、持続可能な制度とすることが重要な課題である。

制度を持続していく上で、国庫負担の引上げを国に求め、不採択。

採択 介護保険制度の創設以降、保険料はほぼ每期引き上げられ、当初の2倍以上になっている。また、物価が上がる一方で、年金は幾度も引き下げられ、生活はより一層苦しくなっている。

年金の上がり方から見れば、介護保険料の大幅な引下げを求めることは、当然の願いだと考える。

さらに、利用料2割負担の対象者の拡大など、さらなる負担増の改定案が検討されている。

市民の負担増、給付削減を繰り返すことは、介護保険制度の破綻をまねく。国の負担割合の引上げを求め、採択。

総務 文教 常任委員会

採択 事務分掌条例の一部改正

問 近大病院の移転後の後継病院の動向や跡地活用について、新しい組織でどのように進められるのか。

答 狭山ニュータウン地区の再生・活性化に向けた体制として、企画部門では、引き続き、狭山ニュータウン地区の再生推進計画の進行管理と総合調整機能を担っていく。その上で、各行政分野にわたる具体的な取組については、近大病院等の移転跡地の取得企業や後継病院が決定されること、狭山ニュータウン未来を育むプロジェクトが軌道に乗りつつあるこのタイミングを捉えて、各分野を担う部局の主体的な取組の推進の中で、より内容の充実・強化を図っていく体制を整えた。

全庁横断的な協議検討、総合調整については、引き続き、副市長をリーダーとした庁内プロジェクトチームのもと、オール大阪狭山体制で取り組んでいきたいと考えている。

可決 指定管理者の指定

問 文化会館の指定管理者の候補者の選定結果において、1次審査と2次審査の結果にほぼ差異がないことから、3次審査等を行う必要があったのではないかと考える。

答 選定のあり方については、様々な意見や議論がある。公の施設の指定管理者選定委員会の委員は、有識者や識見を有する方にも参画していただいている。今後、審査の点数が僅差きんさとなった場合に、どのような候補者選定をするのかについては、必要があれば検討を進めていきたいと考えている。

問 文化会館の指定管理者が変わるが、市民団体の利用が制限される

など、利用者にとって不便が生じることはないか。

答 利用者に混乱が生じることはないように、新たな指定管理者と協議していきたい。

問 現在、文化会館に従事している人たちの雇用について。

答 新たな指定管理者の提案に、継続して職員の雇用をする内容の記載があるため、引き続き、雇用関係に関してお願いしていきたい。

意見 新しい指定管理者となっても、提供するサービスが低下することがないように求める。

文化振興事業団が文化会館の指定管理者でなくなるが、今まで本市の文化芸術活動を支援、発展させる立場で事業を進め、地域に貢献してこられた団体であり、市として寄り添い対応していただきたい。

予算 決算 常任委員会

可決 令和5年度(2023年度) 一般会計補正予算(第7号)

問 旧狭山・美原医療保健センターの運営再開に向けた現在の状況について。

答 大阪狭山市医師会を含む関係機関と、令和6年4月の再開に向けて調整をしている。

可決 令和5年度(2023年度) 一般会計補正予算(第10号)

問 さやりんポイント活用促進事業業務委託料について。

答 ①エネルギー・食料品等の価格の物価高騰の影響を受けた市民生活への支援、地域経済活性化等を目的として実施する。

スマートフォンアプリ「chical」やチャージ機能付き磁気カードに現金をチャージすることで、さやりん

ポイントを付与する。

プレミアムチャージ分は30%、1人当たり上限3,000ポイントとする。磁気カードの配布は、令和6年5月1日から同年10月31日まで、チャージ実施期間は同年5月15日から同年10月31日まで、チャージポイント利用期間は同年5月15日から同年11月30日までとする。

問 エネルギー価格高騰対策事業者支援事業について。

答 電気、ガス及び燃料費の高騰により経営に影響を受ける中小企業等に対し、電気等の使用量に応じた給付を行い、事業の継続を支援する。

令和6年6月30日以前に開業し、本市に主たる事業所を有する中小企業で、申請時点で営業実績があり、対象経費が5万円以上、その他、エネルギー価格の高騰の影響を受けていることや確定申告をしていることなどの条件に該当する事業者を対象とする。令和6年1月から同年6月までの間において、事業活動に要した光熱費または燃料費の合計金額に応じた額を給付する。

問 さやりんポイントプレミアムチャージキャンペーンのサポート窓口について。

答 本庁舎及びニュータウン連絡所でサポートを行っている。スマー

トフォンの操作に不慣れな方へのチャージ機能付きの磁気カードの発行や、市内のセブンイレブンにあるセブン銀行ATMへ支援員の配置を検討している。

問 市立幼稚園・こども園の職員の現状について。

答 公立幼稚園及びこども園の会計年度任用職員を募集したが必要数が確保できず、これらを安定して運営できる体制を構築するため、不足している9名分の派遣職員に係る費用の債務負担行為を設定している。

今後も随時募集を行い、派遣職員の人数ができるだけ少なくなるよう努める。

12月定例会月議会で審議された案件と議決結果

議案名	会派名 議員名	ええ まち 狭山	大阪維新の会			共創 みらい			公明党			政風 クラブ	対決 より 解決	日共 産党 議員 団	議決 結果	
		小 芝 英 俊	中 井 勝 也	中 野 学	西 野 滋 胤	鳥 山 健	花 田 全 史	松 井 康 祐	北 好 雄	久 山 佳 世 子	山 本 あ さ み	山 本 尚 生	池 永 裕 樹	北 村 栄 司		深 江 容 子
条例	事務分掌条例の一部改正／一般職の職員の給与に関する条例の一部改正／会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正／文化会館条例の一部改正／育英金貸与条例の一部改正／特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正／国民健康保険条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
その他	財産区財産の処分／指定管理者の指定（4件※）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度補正予算	一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○	○	◇	○	○	可決
	一般会計補正予算（第7号・第8号・第10号）／国民健康保険特別会計（第3号・第4号）／介護保険特別会計（第2号・第3号）後期高齢者医療特別会計（第1号）／池尻財産区特別会計（第2号）／今熊財産区特別会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
要望	介護保険料の引き下げを求める要望	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	不採択
意見書	再審法改正を求める意見書／認知症との共生社会の実現を求める意見書／食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決

◆表の見方 会派名及び議員名は、50音順。『○』は賛成または採択、『×』は反対または不採択、『★』は議長につき採決には参加していないこと、また『◇』は、本会議を欠席のため、採決に参加していないことを示しています。

※①文化会館 ②老人福祉センター・心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター・障害者地域活動支援センター ③コミュニティセンター ④総合体育館・市民総合グラウンド・野球場・池尻体育館・ふれあいスポーツ広場・山本テニスコート・大野テニスコート

議会報告会

令和5年(2023年)11月11日(土)
 大阪狭山市立コミュニティセンター
 大会議室にて開催しました。

市民との

意見交換会

第1部
議会報告会

令和4年度(2022年度)の一般会計決算、条例等の審査状況など、9月定例月議会の内容について報告しました。

第2部
市民との意見交換会

「世代をつなぐ まちづくり～「共に生きる」今、私にできること～」をテーマに、2グループに分かれて、ご参加いただいた皆様に自由に意見を述べていただきました。数多くのご意見をお聴きし、意見交換会の最後に取りまとめて、グループごとに発表しました。

担当議員	内容(意見・要望など)
Aグループ 池永裕樹 北好雄 久山佳世子 中井勝也 西野滋胤 花田全史 深江容子	<ul style="list-style-type: none"> ●塾に行きたくても行けない子どもがいる。 ○ヤングケアラーで学校に通いたくても、通えない子どもがいる。 ●子どもや高齢者の居場所を作っていく必要があるのではないか。 ○一人暮らしの高齢者の経済的な負担の軽減が必要である。 ●年金暮らしの高齢者の経済的な不安がない市政をお願いしたい。 ○シルバーも大切にしてほしい。広報誌面の情報量が減少した。さやま荘のイベントなど活動内容を掲載してほしい。 ●自主防災組織をなり手がいないため立ち上げられなかった。 ○現役世代が無理なく地域の活動に参画できる環境と意識の醸成が必要である。 ●中心人物を見つけることや人材の確保、10年20年先の持続可能な運営方法のルール作りが必要ではないか。
Bグループ 北村栄司 小芝英俊 鳥山健 中野学 松井康祐 山本あさみ 山本尚生	<ul style="list-style-type: none"> ●2025年11月に近大病院が移転するにあたり、次の病院の公表が遅れているが、どうなっているのか心配である。 ○コロナ禍で教育現場が変わり、ITシステム導入が進められているが、一人ひとりの子どもも教師も大変で、今までの指導方法の良さを知っているものとしてどう育つのか不安である。 ●大阪府統一国民健康保険についてどういうメリットがあるのか。 ○若者は既存組織にはなかなか入れない。若者が主体となる組織が必要である。 ●新型コロナは5類になったが、ウイルス自体は何も変わっていないが、市の対応はどうか。 ○決算の報告を聞いたが、黒字であればもっと有効に市民のことに使ってほしい。 ●市職員について、非正規職員が多いため正規を増やす方向にしてはどうか。 ○多世代交流が出来る施設があれば良いと思う。 ●道路整備について、大阪狭山市は歩道が少ないため、歩道の整備をしてほしい。

誌面の都合上、議会報告会でいただきましたご意見、ご要望などをすべて掲載することができませんが、皆様からいただいたご意見、ご要望などについては、本市の行政側に対して必要なものはお伝えし、各議員の議会質問などの参考とさせていただくとともに、本市議会の活動をさらに充実するために活用させていただきます。



▶▶▶ 市議会ホームページで、これまでの議会報告会の内容を掲載しています。

大阪狭山市議会